

第 33 回技能グランプリ

「婦人服製作」職種 採点項目及び観点

主な採点項目及び主な観点は、次のとおりとする。

区分	主な項目	主な観点	採点項目数	配点
A	シルエット	全面・背面・横面	3	15
B	身ごろ	芯のなじみ・前後切り替え線の良否・ ポケットの作り方 全体のバランス	6	60
	衿	衿の作り方・衿の立ち上がり ステッチの良否	3	
	袖	袖の作り方、袖の付け方 ステッチの良否	3	
C	裏の始末	表地と裏地のなじみ・裏地の縫い方と 裏地のまつり・星止め等	2	25
	まとめ	釦ホール、釦付け、 切りじつけ取り残し 全体の仕上げ	4	

注

1. 課題違反、未完成、針取り残しは失格とする。
2. 指定寸法 後ろ着丈 54cm ・ 袖丈 57cm
3. 工具類等の貸借は認めない。

婦人服製作

ウール地でジャケットを製作する

17 世紀に後半、ヨーロッパにおいて現在のような洋服の基礎が出来上がりました。日本に洋裁の技術が伝わったのは、明治維新前後のことです。婦人服の洋裁化が始まったのは鹿鳴館時代のことで、第 2 次大戦後、活動的な洋服の需要が高まり、洋裁技術も大きく進歩しました。

競技課題の概要

今回の課題は、無地のウール地で毛芯を使った、オーダーメイド仕立てで前ヨークから後衿に続いた立衿のジャケットを 10 時間で仕上げます。

競技のポイント

各自で製図をした型紙を使い、競技は布の裁断から始めます。前ヨークから後衿へと続いた衿の立ち上がりのシルエット、デザイン線を利用したポケットと後見頃のペプラムのつながり、袖口に切り替えのある袖等、丁寧な作業と技術が必要とされ、熟練した技術を競います。